

卷末資料

1 用語解説

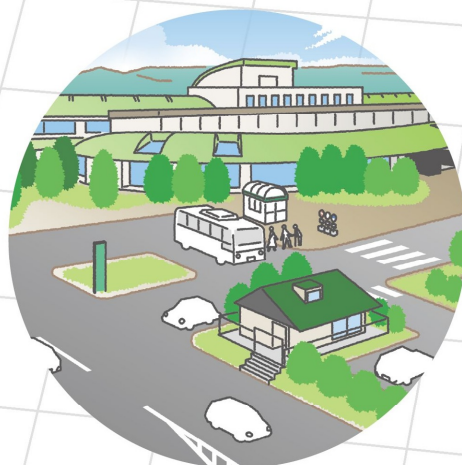
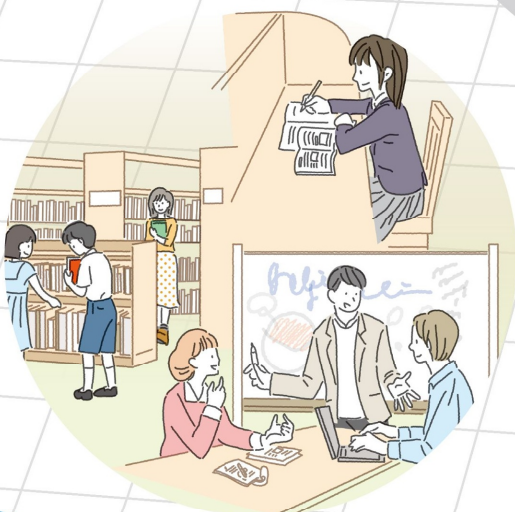
第1章から第4章までの文中の※印のついた用語について解説します。

アルファベット	
PDCAサイクル	○Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返すことで、業務を継続的に改善していく手法のことです。
PFI	○Private Finance Initiativeの略称で、日本語では「民間資金等活用事業」等と訳されます。PFI法(民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律)に基づき、公共施設等の建設や維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法であり、PPPの代表的な手法の一つです。
PPP	○Public Private Partnershipの略称で日本語では「官民連携」「公民連携」等と訳されます。行政サービスについて、民間と連携し、そのノウハウ・技術を活用することでサービスの向上、財政資金の効率的使用や行政の業務効率化等を図ろうとする考え方や概念です。国や地方公共団体等の事業については、民間を活用することで、より効率的・効果的となることが期待できます。
SDGs	○Sustainable Development Goalsの略称で、日本語では「持続可能な開発目標」と訳されます。平成27年(2015年)に国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された令和12年(2030年)までの国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。
あ行	
新しい生活様式	○令和元年(2019年)から世界的に拡大・流行する新型コロナウイルス感染症(COVID-19)から身を守るために提唱された生活様式です。具体的には、身体的距離の確保、マスクの着用、こまめな手洗い・消毒、3密(密集、密接、密閉)の回避等が挙げられ、こうした生活様式が定着する日常はニューノーマルとも呼ばれます。
一級水系	○水系とは、水源から河口に至るまでの本川や支川のみとまりをいいます。一級水系は、国土交通大臣が国土保全上または国民経済上特に重要として指定した水系のことです。全国で109の水系が指定されています。
か行	
(2050年)カーボンニュートラル	○カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにすることです。わが国では、令和2年(2020年)10月に行われた第203回国会の総理大臣所信表明演説にて、2050年までにカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現を目指す宣言(2050年カーボンニュートラル宣言)が行われました。
(戸別)合併処理浄化槽事業	○し尿と生活雑排水を戸別にまとめて処理する浄化槽のことです。
キス&バスライド	○自宅からバスターミナルやその周辺までは家族に送迎してもらい、そこから目的地までバスを利用する移動形態のことです。
グリーンインフラ	○社会資本整備や土地利用のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組のことです。
グリーン社会	○2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す社会のことです。従来のように環境対策を経済の制約と捉えるのではなく、社会経済を大きく変革し、投資を促し、生産性を向上させ、産業構造の大転換と力強い成長を生み出す機会と捉え、経済と環境の好循環を生み出す取組が加速しています。
黒川耕土	○耕土とは、作物を栽培するときに耕す畑の上層部のことです。宮城県においては、「大崎耕土」「栗原耕土」「黒川耕土」等の肥沃な穀倉地帯があり、良質な米の産地となっています。

国恩記	○江戸時代に吉岡宿の篤志家（社会奉仕や慈善事業等を熱心に行う・支援する人）が傳馬使役（物資を運ぶ伝馬役）で疲弊し生活に困窮する住民を救った記録です。平成28年（2016年）には、国恩記を題材とした映画「殿、利息でござる!」が公開されました。
国土強靱化計画	○大規模自然災害時に、人命を守り、経済社会の致命的な被害を回避し、迅速に回復する強さとしなやかさを備えた国土・経済社会システムを構築するための計画です。
国立社会保障・人口問題研究所	○社会保障、人口問題に関する調査及び研究を行うことを通じて、国民の福祉向上に貢献することを目的として設立された厚生労働省に所属する国立の研究機関です。
コワーキング（スペース）	○個人事業者（フリーランス）や小規模法人、企業に所属していても働く場所を自由に選択したい人等が、オフィスや会議室等を共有しながら仕事をする働き方のことです。共有のオフィス環境及びその提供サービスをコワーキング・スペースといいます。
さ行	
サイクル&バスライド	○自宅からバス停留所までは自転車で移動し、駐輪して、そこから目的地までバスを利用する移動形態のことです。
サイクルツーリズム	○自転車を活用した観光のことです。旅行やレジャーのなかで自転車を利用するもののほか、サイクルスポーツ・イベント等の企画や誘致も含む取組です。
最大レベルの災害	○想定し得る最大規模の災害のことです。発生頻度は極めて低いものの、一度発生すればハード整備のみでは防ぎきれず甚大な被害をもたらすため、生命を守ることを最優先に、避難を軸とした対策が求められます。
サプライチェーン	○商品や製品が生産者から消費者に届くまでの一連の流れのこと（仕入れ、出荷、材料調達、製造、販売、消費等）です。
市街化区域	○すでに市街地を形成している区域及び概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のことです。
市街化調整区域	○市街化を抑制すべき区域のことです。無秩序な市街地の拡大を防ぐ地域であり、原則として住宅や商業施設等の建物を建てることができません。
自然度	○植生に対する人為の影響の度合いを10の類型に区分したもののことです。自然草原を自然度10、市街地・造成地等の植生のほとんど存在しない地区を自然度1とし、その中間に植林地や農耕地等が順次ランク分けされています。
指定管理者制度	○公共施設の管理運営に関する権限を指定された者に委任する制度です。民間事業者の経営手法等を活用することで、経費の縮減や利用者のニーズに対応した質の高いサービスの提供が期待できるものです。
垂直避難	○洪水や津波等の災害が発生した際に、今いる建物や近くの建物の上層階へ移動する避難方法のことです。垂直避難に対して、危険な場所から避難場所等の安全な場所へと向かう避難方法を水平避難といいます。
スマートモビリティ	○ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等を用いて、交通や移動をよりスマートにする新たな技術、またはその概念のことです。安全性や利便性の向上のほか、都市部における渋滞解消、中山間地等における移動手段の確保、CO ₂ 排出抑制による環境対策等、様々な課題を解決することを目指しています。
生物多様性	○生きものの多様さ、そのつながりのことです。生物多様性は、①生態系の多様性、②種の多様性、③遺伝子の多様性という3つのレベルがあるとされています。
ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）	○社会的な繋がりを作り出せるネットワーク上のサービスです。個人の考えや撮影した写真、動画等を発信・共有し、交流を楽しむコミュニティ型のサービスであり、代表的なものとして、YouTubeやFacebook、X（旧Twitter）、LINE等が挙げられます。
仙塩広域都市計画区域	○都市計画区域とは、自然的条件・社会的条件等を勘案して、実質上一体の都市として総合的に整備・開発・保全する必要がある場合に都道府県が指定する区域です。本町は、仙台市を中心とする都市圏の構成都市として、仙塩都市計画区域に指定されています。

た行	
たいわEMS	○正式名称は「大和町役場環境マネジメントシステム」といいます。「環境マネジメントシステム (Environmental Management System) とは、組織が自ら環境保全の方針や目標を設定し、その達成に向けた取組を実施するための計画・体制・プロセス等のことです。本町では、役場自らが率先して地球環境問題に取り組むため、平成20年(2008年)11月に環境マネジメントシステムを導入しています。
田んぼダム	○水田が有する水を貯める機能を利用し、大雨の際に一時的に雨水を貯め、水の流出量を抑制することで農地や市街地における洪水被害を軽減する取組のことです。
地域防災計画	○災害対策基本法に基づき、地震や津波、風水害、噴火、原子力発電所事故等に備えて、全国の都道府県と市区町村に策定するよう義務づけられた防災計画のことです。
伊達いわな	○本町にある宮城県水産技術総合センター内水産試験場で開発された、体長50cm・体重1kgほどに育つ養殖イワナのことです。宮城県の養殖ブランド魚であり、平成28年(2016年)に「伊達いわな」として商標登録されています。
小さな拠点	○人口減少や高齢化が著しい中山間地域等において、集落生活圏を維持し、将来にわたって安心して暮らし続けることができるよう、地域の人や資源、活動をつなぎ、育むための拠点のことです。
地区計画	○良好な環境の街区を形成するために決定された計画のことです。一定範囲の地区を対象として、土地利用規制、道路や公園等の都市基盤の配置を一体的にルール化し、地区の実情に応じた都市づくりを誘導するために決定します。
デジタル・トランスフォーメーション	○デジタル技術を社会に浸透させ、人々の生活をより良いものへと変革することです。単にデジタル化するだけではなく、データとデジタル技術を活用して、製品やサービス、業務そのものや組織を変革させていくことをいいます。
デマンドタクシー	○デマンドとは需要・要求という意味であり、デマンドタクシーとは、利用したい日時を事前に予約し、その時間にタクシーが自宅や指定の場所から目的地まで送迎する公共交通サービスのことです。
テレワーク	○情報通信技術を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方の一つです。「在宅勤務」「リモートワーク」と概ね同様の意味で用いられます。
特定空家等	○空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、「そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれがある」「著しく衛生上有害となるおそれがある」「著しく景観を損なっている」「その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である」と認められる空家等をいいます。
都市アセット	○アセットとは資産・財産・資源という意味であり、都市アセットとは、地域の資源として存在する民間施設及び公共施設で、その利活用が都市生活の質や都市活動の利便性向上に資するもののことです。
都市のスポンジ化	○都市の大きさが変わらないにもかかわらず人口が減少し、都市内に小さな敷地単位で低未利用地が散発的に発生することです。使われない空間が小さい穴があくように生じ、密度が下がっていくことからスポンジ化と表現されます。
な行	
鳴瀬川水系流域治水プロジェクト	○鳴瀬川水系の流域全体のあらゆる関係者が協働して協議・情報共有を図り、流域全体で行う治水対策のことです。吉田川をはじめ、本町を流れる河川は鳴瀬川水系に含まれており、鳴瀬川等流域治水協議会の一員としてプロジェクトに参加しています。
農用地区域	○農業利用を確保すべき土地として指定した地域(農業振興地域)のなかでも、まとまって存在する農地や生産性の高い農地として農業基盤の整備を進める区域のことです。農用地区域内では農地転用が厳しく制限されています。
は行	
パーク&バスライド	○自宅からバスターミナルやその周辺までは自動車(自転車)で移動し、駐車して、そこから目的地までバスを利用する移動形態のことです。

ヒートアイランド現象	○都市部の舗装化や冷暖房等の人工排熱の影響で、気温が周辺の郊外に比べて異常に高くなる現象のことです。ヒートアイランド現象は、熱帯夜の増加や集中豪雨等の悪影響をもたらすといわれています。
富県宮城	○平成19年(2007年)3月に県政運営の基本指針として策定された「宮城の将来ビジョン」で掲げられた政策目標のことです。具体的には、産業の集積や生産活動の活発化、交流人口の増加等を図り、県内総生産を10兆円に引き上げることを目標としています。令和2年(2020年)12月に策定された「新・宮城の将来ビジョン」では、これまで積み重ねてきた富県宮城の力をさらに成長させていくことを目指しています。
不交付団体	○税収が十分にあるため、地方交付税(地方公共団体における財源の均衡化を図るため、国が財源の確保と交付を行うもの)を受け取らない地方自治体のことです。
ボトルネック	○目的を達成する際に障害や問題となる部分のことです。交通分野では、前後と比較して相対的に交通容量が低い道路区間または箇所がボトルネックとなります。
ま行	
町割り	○一定範囲の土地に複数の街路を整備し、街路を通して区画を整備することです。本町では、奥州街道沿いにおいて、間口が狭く奥行きの長い短冊状の町割りがみられます。
や行	
ユニバーサルデザイン	○年齢、性別、障がいの有無、国籍等に関係なく、すべての人が使いやすいように製品や建物、空間を設計(デザイン)することです。
予防保全	○壊れる前に事前に手を入れ、壊れないようにすることです。道路や水道・下水道等の都市基盤の更新には多額の費用、長期間の工事を要することから、事業費を削減し、更新時期を平準化するため、損傷や劣化が進行する前に対策を行う管理手法を予防保全型管理といいます。
ら行	
ライフサイクルコスト	○製品の製造費や構造物の造成費のみならず、企画・設計から、製造・建設、販売、維持管理、廃棄に至る全ての過程で発生する費用の総額のことです。
ライフステージ	○就学、就職、結婚、出産、子育て、退職等、年齢に伴って変化する生活環境の段階のことです。
流域治水	○気候変動の影響や社会状況の変化等を踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策のことです。



大和町都市計画マスタープラン 令和5年（2023年）12月

大和町都市建設課

〒981-3680

宮城県黒川郡大和町吉岡まほろば一丁目1番地の1 TEL:022-345-7502 FAX:022-345-2860